

■2025年度スケジュール(予定:変更となる場合があります)

応募期間	6月中	受講生応募受付
	基礎ステージ受講生選抜	
	8月11日	オリエンテーション
基礎ステージ (1年目7月 ～2年目1月)	8月23～24日	全体セッションⅠ(2日間)
	10月25～26日	全体セッションⅡ(2日間・中間発表会)
	1月10～11日	サマリーセッション(2日間)
実践ステージ (2年目2月 ～3年目3月)	実践ステージ受講生選抜	
	2～7月	個別課題研究(大学の研究室等)
	3月	実践英語集中研修
	6月・10月	研究進捗状況報告会
	7月中旬	英語での研究成果発表(神戸)
	8月中旬	海外研修・英語での成果発表(シアトル ワシントン大学)
	3月	研究成果報告会

■受講生募集と選抜について

2025年度の受講生募集については以下の通り予定しています。

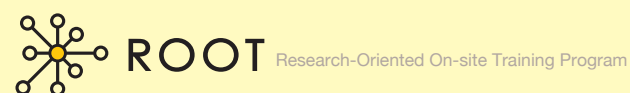
応募期間	6/1(日)～6/30(月)
応募方法	ROOT プログラム Web サイトの応募フォームに必要事項を記入してお申込みください。
選抜方法	応募者から書類審査とインターネットを用いた面接により約40名を基礎ステージ受講生として選抜します。 応募者が多数の場合には、書類審査により面接を行う受講生を選抜します。
面接日:7/13(日)、7/19(土)、7/20(日)	

募集要項の詳細は ROOT プログラム Web サイトをご確認ください。
<https://gsc-root.org>

※本プログラムは、高校生のほか、高校生に対応する学年の高等専門学校生も対象とします。
※中学生であっても、卓越した資質を持ち、本プログラムを受講する上で特別な補助を必要としないと判断した場合には受け入れる場合があります。
※科学技術振興機構(JST)の支援を受けて他大学が実施する 同様のプログラムを同じ年度に受講することはできません。

■次世代科学技術人材育成コンソーシアム ひょうご神戸(仮称)について
地域の大学、研究機関、教育委員会、企業等でコンソーシアムを形成し、本企画を推進します。

■連絡・問い合わせ先



ROOTプログラム事務局

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 サイエンスショップ

TEL/FAX:078-803-7979
E-mail:gsc-hyogo@org.kobe-u.ac.jp
Web:https://gsc-root.org



ROOTプログラムWebページ
QRコード



ROOT

Research-Oriented On-site Training Program



プログラムの概要

科学の分野で強い好奇心・探求心を持った高校生等が、将来国際的に活躍できる科学者や技術者を目指して大きく成長してゆくための教育プログラムです。物事を深く掘り下げて考え、自ら取り組むべき課題をたてて探究してゆく力および研究活動で出会う障害や困難を“越える”力を育むことを重視します。プログラムには、科学の幅広い分野の講義や実習、大学の研究者等の指導のもとで、自分なりの「問い」を立て、研究に挑戦する科学力を高める取り組みのほか、国際コミュニケーション力を身につけることを目的とした取り組みなどが含まれます。

プログラムは、前半の基礎ステージ（7月から翌年1月）と後半の実践ステージ（2月から）から構成されます。基礎ステージ受講生（約40名）は、応募者の中から7月頃に選抜する予定です。また、翌年の1月頃に基礎ステージ受講生の中から実践ステージに進む受講生（約10名）が選抜されます。

ROOTプログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構のサポートのもと、神戸大学を実施機関とし、兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、神戸薬科大学との共同で運営されています。また、兵庫県に位置する国際的研究機関等とも連携しています。



国際的に活躍する
科学者をめざそう!!



基礎ステージ

1年目の7月～2年目の1月(約40名)



研究に必要な様々な基礎を学ぼう!

基礎ステージ（1年目の7月から翌年1月）では、科学的な「問い」について共に考え深めながら、研究を進める上で必要となる考え方や技術を学び、受講生が個別課題研究の研究提案を作成し、その発表を行います。その過程で様々な障害や困難を越える力を身に付けます。また、国際的に活躍するためのコミュニケーション力の基礎を身につけます。受講生全員が参加するイベントとして、8月と10月に全体セッション、翌年の1月にサマリーセッションを実施します。9月から12月にかけて、週末に講義や実習などを含むセッションを開催し、受講生は興味のある回を選択して月2回程度参加します。先端研究機関等の訪問・見学も行います。

研究課題・計画の立案

「科学」とは何か、科学的な「問い」とは何かを共に考えながら、受講生それぞれが自ら追求しようとする問いを掘り下げて、研究課題・計画としてまとめ、サマリーセッションで発表します。

基礎知識や技術の習得

研究を進める上で必要な基礎知識や技術を身に着けるため、物質科学、生命科学、情報・計算科学、人間・環境科学の4つの分野について、講義や実習・実験などに取り組みます。また、哲学やアートと科学について考えます。

英語や国際的活動の学習

実践的な演習を通して、研究の遂行や発表に必要な英語力を身に着けます。また国際的に活躍する科学者や先輩の講演などを通じて、国際的な活動について学びます。

※人や脊椎動物を対象とする実験的研究、危険を伴う研究などには制限があり、実施できない場合があります。

受講生の声

ROOTに参加した受講生たちにプログラムを受講して感じたことを聞きました

可能性を広げてくれた唯一無二のプログラム

取り柄のない消極的な自分を変えたい。私はその思いだけでこのプログラムに参加しました。
研究といわれるとなんだか堅いイメージがあると思います。しかし、こんなに自由でいいのだと実感しました。先生方は高校生ならではの自由でユニークな発想を尊重し、研究課題へと高め、さらに探求する手助けをしてくださいます。切磋琢磨し、お互いを高めあえる仲間もでき、そして何より積極的に行動することの大切さを学びました。
今まで研究というものをしたことがなかった私を一から優しくサポートし、大きく成長させてくれたROOTには感謝しかありません。中高生の皆さんには、ぜひ参加への一歩を踏み出して欲しいです。

金山 紗弥さん 2023年度 実践ステージ修了生
帝塚山高等学校（プログラム受講当時）

人生を変えてくれるプログラム

ROOTで過ごした時間やそこでのたくさんの出会いは、確実に私の人生を変えました。
基礎ステージでは、セッションへの参加や研究計画書の作成を通して、科学研究の楽しさや難しさ、意義をじっくり学びます。学校や部活との両立に苦しんだこともありましたが、ROOTでのたくさんの人との出会いは何にも代えられない貴重な財産です。特に同期の受講生たちとは、住んでいる場所も学年も超えて仲良くなり、互いに協力して半年間一緒にROOTに取り組むことができます。
ROOTは、学校の中にいるだけでは知らなかったたくさんの世界を見ることができ、自分の視野を広げることができる。そんなプログラムです。

下山 小梅さん 2023年度 基礎ステージ修了生
白陵高等学校（プログラム受講当時）

教科書からは得られないものがある

このプログラムでは、ここでしか得られない貴重な体験をさせていただきました。
例えば、英語でほかの高校生や外国からの講師の方と議論したり、大学の教授の前で自分が考えた研究手法を発表し、その場でアドバイスをいただくことができます。部活、勉強との両立などで苦労したこともありましたが、振り返ってみると非常に有意義な1年でした。実践ステージでも、さらに研究計画を発展させていきたいと思います。
教科書に載っている知識だけではない、科学者としての第1歩を踏み出せる素晴らしいプログラムです。興味のある方はぜひ参加してみてください。

松岡 史高さん 2023年度 基礎ステージ修了生
六甲学院高等学校（プログラム受講当時）

普段の高校では体験できない素晴らしい体験

僕はROOTプログラムに参加したことによって、普段は体験できない非常にレベルの高い、数多くの素晴らしい活動に参加することができ、研究者に向かって大きく成長することができました。
ROOTプログラムと学校の両立は、要領の悪い僕にとってはしんどかったですが、そのしんどさの何倍もの研究に対する喜びや楽しさを感じることができました。
週末セッションの講義や全体セッションでの研究発表、特別週末セッションでの研究施設訪問、教授とのリアルでの1対1での議論といった経験は、どれも欠かすことのできない大切な思い出です。ROOTプログラムに参加して良かったと心から思います。

中野 脩平さん 2023年度 基礎ステージ修了生
清風高等学校（プログラム受講当時）

実践ステージ

2年目の2月～(約10名)



本格的な研究に取り組もう!

実践ステージ（2年目の2月から）では、基礎ステージから選抜された受講生が、自ら提案したテーマについて大学などで研究に取り組みます。研究の過程で、受講生と大学教員が集まって研究の進捗について報告、意見交換したり、英語でその時点までの成果発表を行う機会などがあります。
実践ステージの後半以降は、研究成果をとりまとめ、国内の学会や研究会での発表を目指します。さらに国際学会での発表や、英語論文の執筆にも、積極的に挑戦することが期待されます。
最後に実践ステージでの活動や研究について報告するレポートを提出し、研究成果発表会で発表します。

研究の実践

基礎ステージで立てた研究課題について、専門家との議論を通じて、「実行可能性」、「新規性」、「科学的価値」のある研究課題を練り直し、専門家のアドバイスのもとに本格的な研究の実施を目指します。

英語力の集中研修

科学研究を進めたり、発表したりするのに必要な実践的英語力を高める集中的な研修を3月に行います。英語によるディスカッション、プレゼンテーションなどに関してネイティブスピーカーの講師らによる指導・実習を行います。

英語による研究成果発表

7月には国内（神戸）で英語による高校生の研究発表会に参加。8月以降、国際的な学会や科学コンテスト等での英語による研究発表や、研究成果を論文としてまとめることにチャレンジします。